

コンプライアンス

基本的な考え方

当社グループは、コンプライアンスを単なる法令遵守とは考えず、ビジネス上の倫理、さらには社会規範の遵守と捉えています。「日清オイリオグループ行動規範」を経営理念実現のための行動指針とするとともに、社会規範を遵守した活動の行動指針としても位置づけています。日清オイリオグルー

プの全役員、全従業員は、行動規範の目的を十分理解し、強い責任感を持って活力ある事業活動を推進するとともに、社会の一員として関係法令を遵守し、社会倫理・通念に適合した行動を実践しています。

グループ企業倫理体制

通常の職制報告ルートとは別に傘下企業を含むグループ全体の企業倫理、法令違反に関する重要情報を現場から直接経営層に伝える情報提供制度として「日清オイリオグループ企業倫理ホットライン」を設置しています。提供された情報は企業倫理委員会で審議し、適切に対処しています。なお、通報者のプライバシーの保護に十分に配慮し、通報者に対する不利益・報復には会社として厳正に対処します。

日清オイリオグループ 企業倫理ホットライン



コンプライアンス推進の取り組み

モニタリング

当社グループ全体を対象として、様々な分野におけるリーガルリスクに対する取り組み状況を定期的にモニタリングしています。感染症対策や個人情報の海外移転、働き方改革など時流のテーマについても取り入れ、各種取り組みの「振り返り」と「気付き」の機会としています。

サステナブル調達

コンプライアンスがサプライチェーン全体で求められる時代において、「日清オイリオグループ調達基本方針」を制定し、コンプライアンスや品質はもとより、環境や人権等に関する調達面での行動指針を定めています。特に、サステナビリティが強く求められるパーム油の取引においては「パーム油調達方針」を制定し、NDPEの遵守やトレーサビリティの実現に向けて取り組んでいます。具体的なアクションプランをホームページで公開し、積極的に展開しています。

コンプライアンス教育

当社グループは、コンプライアンスの推進・強化を目的として、役員・従業員の啓発、教育を継続的に行っています。毎年10月を企業倫理月間と定め、企業倫理からテーマを設け講演会を開催しています。2020年度は、公益財団法人21世紀職業財団の客員講師である吉田仁志氏をお招きし、「ハラスメントのない職場づくり」と題して、ハラスメント防止に向けた部下指導や職場運営などについて、オンラインでご講演いただきました。



ハラスメント防止についてのオンライン講演会